

修学旅行に寄せて

学年主任 大平 徹

高校生活最大の行事 修学旅行。この時期、いつも私が思い出すのは初めて北海道を訪れた時のこと～雄大な自然の懐に抱かれ童心に返った楽しい一時のことです。

人は非日常的な出来事に触れることで、新たな自分を発見したり、失いつつある大切な何かに気付いたりします。この修学旅行が皆さんにとって是非そのような機会になるよう願っています。

世界遺産に登録され、手つかずの自然が残る「知床」を訪れ、自然や環境問題を考える。また、北方領土の国後島を眼前に日本の歴史・文化に思いを馳せる。さらに、豊かな自然の幸を賞味する。北海道での体験の一つひとつが、きっと皆さんを人として成長させてくれるはずです。

そして、忘れてはならないのが「絆」。一人ではなく、多くの友と寝食を共にすることで様々なことを学んで下さい。単に楽しむだけでなく、集団生活のルールを守ること。友の体調を気遣うこと。訪れた先で、人との出会いを大切にすること。皆さんのみずみずしい感性で「絆」を感じ取って下さい。

それでは、 いざ、道東へ！